

全町内一斉避難訓練【6/30(日)】

中太閤山地区14町内会の人々が、大規模地震などの突発的災害時に、安全・確実に避難所(中太閤山小学校)まで避難することができるように防災訓練を行いました。

当日は大雨警報(発表4:28)が出る中、9時の天候は曇りときどき雨でしたが、不快指数の高い一日でした。

そのような中で、全町内会(自主防)が足並み合わせて参加できたことは喜ばしいことでした。



*** 当日の内容 ***

8時-9時 各町内(自主防)は安否確認後に避難所へ移動、振興会自主防は避難所開設、9時-10時 避難者受け入れ
10時-11時 講義など(発災直後の72時間[安全安心部]、ガスの取り扱い[日本海ガス]、避難所での認知症の方に対する配慮[小杉南地区包括支援センター])

参加者は各町内会(自主防)142名、振興会自主防28名、講師6名でした。



第19回ふれあいパークゴルフ大会【7/6(土)】

中山公園パークゴルフ場で開催されました。53名のプレイヤー達が、日頃の成果を発揮されました。

☆成績結果☆

Aグループ	Bグループ	Cグループ
1位 伏木 勲 (10T目)	1位 廣澤 文雄 (4T目)	1位 甲 厚子 (5T目)
2位 水野 進 (10T目)	2位 竹原 節夫 (7T目)	2位 福永 敦子 (6T目)
3位 桜井 政夫 (6T目)	3位 甲 武志 (5T目)	3位 桜井マル子 (6T目)



行事予定《7~8~9月》

- 7月28日(日) 第2回クリーン作戦 AM6:00~
- 7月28日(日) 太閤の杜 納涼祭
- 8月4日(日) 県内防災の教訓を学ぶツア
- 9月8日(日) 中太閤山住民運動会

ボーリング大会【7/21(日)】

☆成績結果☆

団体優勝	7T目
一般男子優勝	岩井 達雄(7T目)
一般女子優勝	大鋸 和子(7T目)
中学生(男女混合)	藤木 聖子(9T目)
小学生(男女混合)	明嵐 隼(17T目)

参加人数:43名
場所:小杉クワトロブーム
時間:9時半~



《お盆の休館日のお知らせ》8月11日(日)~18日(日)

コミュニティセンターのお知らせ

申し込み、お問い合わせは当センターへ
TEL・FAX 56-4105

参加者
募集!

第2回 折り紙教室

8月 8日(木)

・午前9時30分~11時30分

☆参加費:100円

☆締切:8月1日(木)

※夏休みなので小学生の参加もOKです!
一緒に楽しみませんか?

ゆめ体操
8月5日(月) 19日(月)
10時30分~11時30分
※参加費二百円
※持ち物:タオル
お茶
ズック
※暑い夏を乗り切る為の
体づくりを

第2回 物作り教室

「安心・安全万能手作り石鹸づくり」

8月22日(木) ※全身に使える“石鹸”
午前10時~11時30分

講師:松原 彰子 (アロマセラピスト)

☆材料費:600円 (当日集金)

☆持物:牛乳パック1ℓ (きれいに洗ったもの)を2ヶ
マスク・メガネ・ゴム手袋

☆定員:12名 ☆締切:8月9日(金)

脳がいきいき

臨床美術講座③

「ぶどうを描く」

9月19日(木)

午前9時30分~11時30分

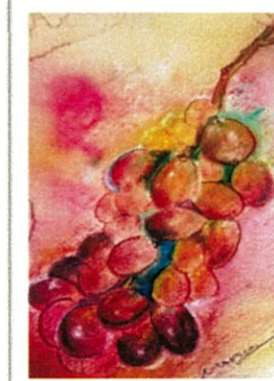
☆講師:臨床美術士 3名

☆参加費:100円

☆持物:なし

☆締切:9月12日(木)

※香り・感触・想像力等々を
駆使して
作品を仕上げます!
初参加の方も
大歓迎です!



《活動報告》

6月19日(水)

ふくろうのブローチ



7月3日(土) とやま名水講座の参加者の皆さん

《今後の予定》

- ◎お茶を楽しもう! ...10月12日(土)
- ◎小物作り教室「ばね口ポーチ作り」...10月16日(水)

《花壇の除草》

◎8月4日(日) 午前7時~8時
ご協力をお願いします!



地域振興会では平成22年度より射水市と協力して、中太閤山地域のがん検診受診率を高め、がんの早期発見・早期治療を通して、健康な中太閤山を目指す運動を展開しています



(今月のテーマ)

がん検診は受けるべき? ~医師が教える最新事情~

真生会富山病院 内科 乃塚俊起

「がん検診なんて無駄」「がん検診、やればやるほど死者を増やす」

という医療否定を堂々と書いた本が、100万部も売れたといえます。心ある多くの医師が、天を仰ぐばかりでは、人々の疑問に答えることはできません。がん検診のような、もともと面倒なことに時間をを使うのは嫌なのに、無駄と言われると、その意見に流されてしまうのが世の常です。

早期発見、早期治療で、90%以上助かるがんが急増

「がん検診はすべて無駄」「がんは放置せよ」と言うのは、全く大ざっぱな、最新の医学的知見を無視した意見です。「がん」と呼ばれる病気でも、できた部位によって、進行の過程も、生存率も大きく異なります。同じ「がん」と呼べないほど違うのです。糖尿病や高血圧症などの慢性疾患のように、上手く付き合っ



ていけば天寿を全うできる「がん」もあります。反対に急速に進行して、3カ月後には死に至る「がん」もあります。100%死に至る「がん」であったのが、現代医学のおかげで、90%以上助かるようになった「がん」もあります。「がん」=死の病というのは、過去のことであり、多くの「がん」の死亡率は下がっています。明らかに長く生きることができるようになったのです。

最近、Lancet誌に世界71カ国のがんの生存率のデータ(CONCORD-3 study)が発表されました。膨大な数を集積して、2000年から5年ごとの生存率が集計されています。日本はおおむね上位ではあります。特に消化器がんにおいては世界トップクラスです。人種地域差がありますから、生存率が高いところが、医療水準が高いとは言いきれません。特に注目すべきは、5年毎の集計で各国のがん生存率が向上していることです。(ウラに続く)

日本でも

乳がん (85.8% → 88.9% → 89.4%)

結腸がん (63.4% → 66.8% → 67.8%)

小児リンパ性白血病 (79.7% → 83.7% → 87.6%)

と、生存率の明らかな向上がありました。かつて20年前に「がんと闘うな」「放置療法」を唱えた医師があり、早期がんは発見もいらない、進行がんの手術も化学療法も一切無意味と主張しました。彼の根拠としていたのは、早期がんは元々がんではないし、進行がんは何をしても治らないというものでした。当時のがん治療では、そのように考えても仕方のないがんも確かにありました。しかし医学はあきらめずに、この20年もひたすら、がん患者の生存率向上に向けて「闘って」きたのです。統計学では、生存率の向上は、なかなか示しにくいものです。そこにつけこまれて、誤った主張がまかり通ったのです。明らかにこの10年でがん治療の向上が見られてきましたので、旗色が悪くなり、最近はトーンダウンしているようです。代わりに「高血圧も糖尿病治療もすべて意味がない」という主張に切り替えておられるようですが。

受けるべきがん検診は? 有用なのは「胃、肺、大腸がん検診」

検診には、自覚症状のない時期にがんを発見するというメリットがあります。自覚症状が出たがんは、すでに進行がんであることが多いからです。反面、健康な多くの人に、無駄な検査を行うということになります。特に公的な資金で行う場合は、経済面も考慮して、それらのバランスから検診は有効かどうかを考える必要があります。発見する必要性の低いがん(前立腺、甲状腺)は、検診の必要はありません。また、非常に稀ながんも検診の対象になりません。国立がん研究センターがん予防・検診研究センターでは、科学的根拠に基づくがん検診を推奨しています。まずは40才以上の男女の、年に1回の「胃、肺、大腸がん」検診です。加えて女性は子宮頸部、乳房を勧めています。これらはすべて自治体で行われています。

最近、次々と出てきている新しい手法の遺伝子検査は、まだ研究段階です。これから陸續と、臨床研究の結果が出てくるでしょう。また、がん治療も、抗体療法から遺伝子治療へ向けて、射程距離に入ったといってよいでしょう。放置などとんでもない。がん検診について正しい理解をし、40歳を過ぎたらがん検診を受けましょう。



ご意見・ご感想は事務局まで 中太閤山コミュニティセンター内

☎ 56-4105, nakataikoyama@imizu-chiiki.jp